

# オイスカ in 四国

[www.oisca-shikoku.org/](http://www.oisca-shikoku.org/)

2017.April. 17  
vol. 17

あなたも参加しませんか？オイスカサポートの輪  
● 大好き日本の食卓  
No.9 讀岐うどん

## 推進協議会の活動報告

- 香川東
- 高松
- 徳島県
- 綾川
- 中讃
- 三豊
- 高知県



研修センターの更なる充実を目指して

オイスカ四国研修センター 所長挨拶  
オイスカ四国支部 会長挨拶



大好き日本の食卓  
●

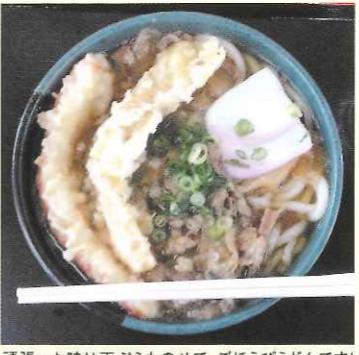
No.9 讀岐うどん

食	日	大
卓	本	好
●	の	き

No.9: 讀岐うどん



私が、四国研修センターに来て初めて食べた讃岐うどんは、とても美味しかったです。沖縄県は「うどんそば」、香川県は「うどん」、それぞれ美味しい所だとピーアールしています。そんな、香川で初めて食べたうどんが研修センターの近くの「玉吉」という、うどん屋さんです。いろいろな種類の天ぷらもありましたが、もともと牛肉が好きな私は、牛肉が入ったうどんを選びました。うどんとつゆと牛肉の味が本当に最高で、3回も続けて食べに行ってしました。



頑張った時は天ぷらものせて、ごほうびうどんです！

その後、研修センターでうどんの作り方を教えてもらい研修生全員で食べました。とても美味しかったです。でも、お店で食べるうどんと違つて、太かつたり短かつたりしました。フィリピンへ帰るまでに、うどんの作り方をしっかりと覚えて日本の人々に「美味しい！」と言つていただけるようなうどんを作りたいです。そして、フィリピンの家族に日本のうどんを食べさせてあげたいと思っています。みなさん、待って下さいね！！



デンさん(31)  
フィリピン・ヌエバエシア州出身

日本での研修は2回目です。  
1回目は「沖縄県」で、2回目が「四国研修センター」です。

## オイスカの会員・支援者になって国際協力活動に参加しませんか？

今すぐできる支援の方法は5つ 無理なく続けられる方法をお選びください

### ■支援内容

#### ①毎月の継続寄附

毎月500円でオイスカ活動をトータルにサポート。8月に年次報告書が届きます。

●ワンコインサポーター……500円×12ヶ月 ※月々の自動引き落とし

毎月2,000円からのオイスカ活動トータルサポート。月刊「OISCA」で活動の様子をご報告。

●マンスリーサポーター……2,000円～×12ヶ月 ※2,000円以上、任意(1,000円単位)の金額で月々の自動引き落とし

#### ②自由な寄附

各種活動の推進のための寄附です。時期、金額(1,000円以上)、回数は自由で、支援する事業をお選びいただけます。

●海外開発協力事業 ●「子供の森」計画事業 ●人材育成事業 ●啓発普及事業(国内の森づくりなど啓発普及全般)

●啓発普及事業(海岸林再生プロジェクト) ●トータルサポート

……1,000円～(いつでも何度でも)※1,000円以上の申込みで、金額は任意となります。

#### ③「子供の森」計画支援

年間1口5,000円で「子供の森」計画を支援してくださる方を募集。

支援証、活動を伝えるニュースと現地の子どもたちからのグリーティングカードが届きます。

●「子供の森」計画支援……5,000円/年

#### ④賛助会員

オイスカの活動に賛同し、ともに歩んでくださる方を募集。月刊「OISCA」で活動の様子をご報告。

●維持会員……20,000円/年 ●特別会員……50,000円/年

#### ⑤集めて送る

自宅にいながら参加できるボランティアです。ベルマークは1点=1円で「子供の森」計画に、書き損じはがきは各種活動推進のために使われます。

●ベルマーク ●書き損じはがき

### 問い合わせ先

◆四国支部	〒760-0017 香川県高松市番町2-17-15 第二讃機ビル2F	TEL:087-821-1503
◇高松推進協議会	〒760-0017 香川県高松市番町2-17-15 第二讃機ビル2F	TEL:087-821-1503
◇坂出推進協議会	〒762-0011 香川県坂出市江尻町1721-10[(株)石井内]	TEL:0877-45-0141
◇三豊推進協議会	〒769-1502 香川県三豊市豊中町笠田笠岡3915-3[(株)イナダ内]	TEL:0875-56-6001
◇香川東推進協議会	〒769-2304 香川県さぬき市昭和5806	TEL:0879-52-5070
◇中讃推進協議会	〒763-0034 香川県丸亀市大手町3-2-1[四国電力(株)丸亀営業所内]	TEL:0877-22-5973
◇綾川推進協議会	〒761-2103 香川県綾歌郡綾川町陶5179-1[オイスカ四国研修センター内]	TEL:087-876-3333
◇徳島県推進協議会	〒770-8555 徳島県徳島市寺島本町東2-29[四国電力(株)徳島支店総務課内]	TEL:090-3181-0158
◇高知県推進協議会	〒780-0870 高知県高知市本町1-6-24[高知商工会議所総務部内]	TEL:088-875-1177
◆四国研修センター	〒761-2103 香川県綾歌郡綾川町陶5179-1	TEL:087-876-3333



オイスカ四国支部  
会長

石井 淑雄

# 新年度を迎えて

**四** 国支部は平成5年4月、初代の佐藤忠義会長の絶大な人望の元、産声を上げて24年が経過した。本年は来年の25周年に向けて、継続事業、更には新規事業へ積極的に取り組み、プレ25周年にふさわしい花を添える年に致したい。

二つの花は世界平和である。中野良子総裁、中野悦子会長は、常にそれを語られ、日本の安寧を願つておられる。そのお心に添つて具現化に努めた。海外植林、香川日本パングラデシ友好協会などもその一つと心得ている。四国の沢山の方がオイスカに顔を向けて下さることを乞い願う。

二つの花は地域に密着した活動である。

国内植林、下草刈り、枝打ち、地域の公共・

民間団体、学校などの交流に更に重きを置き、地域から求められるオイスカを目指したい。

三つの花は会員総数1000名の達成である。4年前の会長就任当初からの目標としているが、これが中々手強い。それだけに達成した時の歓びは「入だらうと思う。1000人目の会員様へは記念に何かをしよう」と今からドキドキである。

1000人には理由がある。四国研修センターと四国支部の運営の財務健全化である。オイスカはご承知の通り全て自己完結である。四国支部は四国の身の丈に合った活動を行っている。即ち財源にあつた活動である。その財源は会費と寄付金であるが、寄付金を当てにしていては先がない。詰まる所、会員増強が必須である。

会費は5・3・2の配分が適用されている。即ち、四国研修センター5、本部3、支部2である。分解すると20000円の会費では、10000円が四国研修センター、6000円が本部、4000円が支部に配分される。会員が増えれば研修生を増員することが可能となり、国際



「インドネシア四國の森」ロンボック島植林活動の記念碑



貢献に勢いがつく。10名以上の研修生が常時在籍する研修センターが目標である。

入会を勧めた時に、「メリットはありますか」と尋ねられたら、もう了承して下さったと心得る。答えて云うのは決まって「何もない。ただし、研修生といつでも話が出来て、安心してその国に行け、800名有余の同志が一度に得られます」と答えが楽しみだ。

オイスカのメリットである。



佐藤忠義オイスカ四国支部初代会長（現顧問）揮毫の石碑



## 研修センターの 更なる充実を目指して

この春、新たに5か国より6名の研修生が入所し、研修センターは賑やかになり、活気に満ちています。研修生の誰も初めての日本で不安と期待に胸を膨らませ、そして目を輝かせながら、日々の研修に励んでいる姿は新鮮です。財政上の理由から、一時期と比べると研修生の人数は半減していますが、その分研修生に対するきめ細やかな指導ができるようになつた点はプラス面として捉えています。一方で、昨今の開発途上国における女性の役割に注目が集まっている中、四国研修センターで学ぶことができる有機農業と女性生活改善の研修に寄せられる期待は、年々高まりをみせています。

そのような背景もあり三年前から研修生OBやOGをスタッフとして採用しています。自分たちが研修したことについて語り合いたいなど工夫を加えて研修生を指導しています。それぞれ農業と食品加工を担当しながら個々に知識や技術を現地の実情に照らし合わせて指導しており、研修生が作成する帰国後のアクションプランにも有効なようです。更には彼らが日本人と同じように動く視点や能力を持つことで、任期後の現地プロジェクト運営にも活かせるようになります。

今年、研修センターは「一人一人の能力を高めながら共に語り合いより良いセンターにしよう」を目標に掲げました。現状に満足することなく、日々努力を重ねながら個々に能力を高め、互いに忌憚のない意見を出し合い、より充実した研修センターを目指してまいります。

所長 萬代 保男

## マレーシアのガディです



今年、四国研修センターのスタッフとして4年目となりました。食品加工の担当です。センターの平飼卵を使ってシフォンケーキを作ったり(産直市場等で販売)、研修生にジャムや漬物、お菓子作り等を教えています。マレーシア・サバ州にあるオイスカでの研修と四国研修センターでの家政研修(2011年~2012年)、そして、スタッフになってから新しく学んだことを自分でいろいろと試しながら研修生に教えています。スタッフとして日本に来ていますが、研修生から学ぶことも沢山あります。日本語で教えることは難しいです。自分の言いたいことが伝わらなかったり、研修生が違う行動をしたりすることもあります。でも、ある言葉を所長から教わって意識が変わりました。「やって見せ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば、ひとは動かじ」という言葉です。自分が先ずやって研修生に見せる。そうすると研修生も同じようにしてくれます。ですから言葉の問題で教えられないということはありません。

研修生が日本に来てから国へ帰るまでの成長が少しでも大きくなるように、自分自身も教えるスキルアップをしていきたいと思っています。



## フィリピンのリッキーです



私は2001年フィリピン・ネグロス島のバゴ研修センターで研修した後に日本で研修を受け、その後バゴ研修センターに戻ってスタッフとして勤務してきました。2016年からは四国研修センターのスタッフとして主に農業を担当しています。日本で働くことになった時、はじめは農業も研修生の指導もフィリピンでの経験があるから大丈夫だろうと思っていました。しかし、日本語は難しい上、指導も厳しく行うため毎日大変です。

日本人のスタッフから聞いたことだけをやっていると研修生へ教える時に自信がなくなったり、また業務予定を自分で決めて行うことも難しいです。日本人の感覚が分かっていないと説明できることもあるし日本人とは違う研修生の気持ちも分かるので悩むこともあります。ですから今は農業や日本語をもっと勉強したいという気持ちが強いです。

今は、私が研修生だった頃と違うことが多いですが、私の経験を基にできるアドバイスを研修生にしたり、これからはもっと自分の意見を出して研修内容やセンターを良くしていきたいと思っています。





## 香川—坂出

会長 宮崎 博文

## 第25回チャリティゴルフコンペ開催

坂出推進協議会が主管し、去る3月23日高松カントリークラブにおいて、曇りそして微風の中、第25回目のチャリティゴルフ大会を開催致しました。各推進協議会より多く会員や支援者が集い、121名の参加を得て、盛大に親睦と交流を図りました。競技では、すべてグリーンセンターのピン位置だったので、好成績が続出し、笑顔でホールアウトしてきました。



開放感あふれるコースでナイスショット!



表彰式では、オイスカは四国支部石井会長の挨拶に始まり、オイスカ四国研修センターの新研修生6名が覚えたばかりの日本語で自己紹介をし、賞品プレゼンターとして参加者と交流しました。今回も、ご協賛いただいた25社の紹介や参加賞と賞品で大賑わいし、殆どの方が最後まで喜んでいました。最後に森崎副会長より参加者へオイスカ入会と次回のご参加をお願いして閉会しました。

## 香川—中讃

会長 中野 百合子

## 古本で!「子供の森」計画サポート



な情報が沢山の人達の目に触れ、オイスカの広報活動になるのではと考えております。



オープン前にみんな笑顔でエイエイオー!



オイスカPRも兼ねた古本回收ボックス

今年一月の中讃推進協議会幹事会において幹事・会員の中で古本回収ボックスを設置できる企業へ順番にボックスを回しで古本回収を計画しました。大倉工業株・四国化成工業株・平和写真印刷株・医院・石油スタンド・ファットネスクラブ等々に設置して頂いており、現在もボックスは回っています。古本回収は決して大きな金額にはなりません。しかし、古本回収ボックスを設置することにより、「オイスカ」や「子供の森」計画など様々な企画を実現する機会が生まれます。

言えば今年もゴールデンウイークの丸亀お城まつりに、オイスカ四国研修センターと協力してオイスカカレーを出店するとともに、オイスカのパンフレットや海岸林再生プロジェクトパンフレットの配布をします。オイスカの認知度アップに頑張ります!



オープン前にみんな笑顔でエイエイオー!

## 徳島—徳島県

会長 岡田 典子

## 市街地の植樹帯や花壇の整備に参加

9月10日および12月17日、徳島県推進協議会の事務局など12名が「とくしままちなか花ロードProject」に参加し、徳島市中心部で花の苗を植えました。



この活動は、観光客や市民に気持ちよく過ごしてもらいたい



なれない手つきですが、「ひと株 ひと株」心を込めて植えました

当日は早朝の8時開始にもかかわらず、メンバー全員が遅れることなく集合し、慣れない手つきながらも約2時間かけて苗を植えました。普段はしゃがんで作業する機会がないため、参加者はみんな痛みに腰を押さえながらも、数か月後に街中が色とりどりの花で満たされる光景を思い浮かべ、充実した時間を過ごしました。

## 高知—高知県

会長 青木 章泰

## 広くオイスカ活動を知つてもらうために

オイスカ高知県推進協議会では、子供向け行事に協賛・参加することにより、次代を担う児童やご両親にオイスカを広く知ってもらう活動を行っております。

昨年8月25日には、四国森林管理局と協賛し、「夏休み親子木工教室」を開催いたしました。オイスカ研修センターからの研修生を含めて9名が参加し、オイスカ活動の紹介のほか、つみ木を使った遊びなどを通じて、子供たちに木の大切さや自然環境に対する興味をもつてもらいました。

また、今年1月23日には、高知県が推進する「協働の森事業」に参画する企業のイベントに、オイスカ研修生を含む5名がお手伝いをさせていただきましたことになり、高岡郡四万十町内の小学生とシイタケの菌打ちと学校林へのもみじ苗木の植樹を行いました。子供たちには、普段じみの薄い山林での体験を通じて、自然を大切にするという気持ちを育んでもらいました。

オイスカ高知県推進協議会では、今後もさまざまな機会をつうじて、オイスカ活動を広く知ってもらえるような活動を展開してまいります。



つみ木を使って「住みたい未来のまち」を作る子供たち



もみじの苗木を植樹する場所の枯れ木や下草を刈る子供たち

研修生もつみ木で街づくり

## 香川—中讃

会長 中野 百合子

## 古本で!「子供の森」計画サポート



な情報が沢山の人達の目に触れ、オイスカの広報活動になるのではと考えております。



オープン前にみんな笑顔でエイエイオー!



オイスカPRも兼ねた古本回收ボックス